

玄関扉 取手&カギのメンテ

概略

- ・ 築 12 年、玄関扉の取手とカギ部の表面が少し傷んできたので、分解掃除を兼ねて再塗装してみる。
- ・ TOSTEM のプッシュプル式取手なので、取説はないが構造は簡単です。

材質 取手本体：アルミダイカスト

塗装 下塗り 非鉄金属用プライマー

上塗り 高耐久ラッカー ゴールド（アサヒ）

仕上げ 高耐久ラッカー 艶消しクリア

費用 2,565 円（上記のプライマー&塗料代）

完成：2014 年 11 月



↑メンテ前

↑塗装後（完成）

左画像では分かり難いが、取手には細かな引っ掻き傷が目立つようになっていた。カギ穴の上側は塗装が薄くなって白く見えていたが、右のように完全に復活した。室内側の木目調取手もクリア塗装で蘇らせた。



↑ 取手の取り外し（塗装前の状態）

室内側の木目調取手も艶が無くなっているし、カギ組立の表面ゴールドは殆ど色を無くしている。カギ組立は、ついでに粉体潤滑も施した。



↑ 門扉のメンテ

門扉も再塗装で生まれ変わらせ、取手もラッカー&艶消しクリアで、いぶし銀の新品状態に蘇る。

メモ

- ・ 屋根および外壁のメンテ工事により建物が一気に綺麗になると、周辺設備とのバランスが気になってきました。
- ・ 駐車場のプラ屋根と折り畳み式アルミフェンスの汚れ、門扉、玄関灯ポスト、郵便受け、電気温水器、エアコン、物置、犬小屋などなど、洗浄や再塗装で綺麗にしておきたい設備ばかりです。
- ・ 年末も近いことだし、これらを一気に自前でメンテナンスすることにした。
- ・ 幸い、借り物のケルヒャー高圧洗浄機が手元にあったので、高圧洗浄は楽勝だし、塗装作業も木工での知恵で大きな失敗もなく完了することができました。
- ・ 残った課題は、アルミ製玄関ドアの下の方に、飼い犬による引っ掻き傷が少しあるが、アルマイト処理面の補修は困難なので、これ以上傷が目立つようになったらドアの全面塗装にも挑戦してみよう。